

建物火災は3割減少

放火による火災が増加傾向に

今年も3月1日(困)から7日(困)まで、春の全国火災予防運動を実施します。

いまだに寒さを感じる日々が続き、生活の中でもストーブやガスコンロなどで火を使用する機会も続きます。

特に空気が乾燥する今の時期は、ちょっとした気の緩みから火災が発生しやすくなりますので、十分な注意をお願いします。

普段の心がけで火災が減少

平成23年の火災発生件数は70件で、前年に比べ10件減少しました。減少した10件は、建物火災で、昨年の34件から約3割減少し、24件になりました。

減少の要因は、地域の消防団のパトロールや防火講習会などに加え、昨年の東日本大震災の経験による市民の皆さんの防災



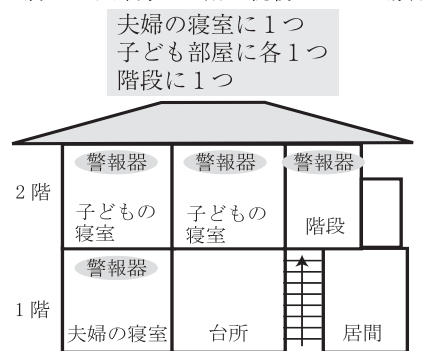
消防活動を学ぶ中学生(職場体験学習)

放火されない環境を

全体の火災発生件数は減少した一方、「放火・放火の疑い」は、前年に比べ10件増加し、15件から25件となり、全体の約4割を占めています。放火対策は、「放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない」ことが基本で、次の5つを行うことが効果的です。

火災警報器の設置例

2階建てで、夫婦・子ども2人の寝室が別々で、片方が2階で就寝している場合



夫婦の寝室に1つ
子どもの部屋に各1つ
階段に1つ

り、悪質な訪問販売も防止できますので、詳細は消防本部予防課までお問い合わせください。

なお、機器の取付が困難な高齢者世帯には、地域の皆さんに設置をお願いする場合がありますので、ご協力ください。

街頭防火キャンペーンを実施

さらに、市では、市民の皆さんに防火意識を高めてもらうと、2月25日(土)13時30分から、イオンストアで消防音楽隊の演奏や消防グッズの配布を行う街頭防火キャンペーンを実施します。

また、火災予防運動の一環として、3月1日(困)7時に各消防署のサイレンを一齐に鳴らしませので、火災と間違えないようしてください。

【問合せ】消防本部予防課 ☎7124-0114

4月1日 民間保育所がオープン

桜の里と梅郷駅東口に



市では、「新エンゼルプラン」に基づき、民間活力を導入した保育所の整備を進めています。

4月1日からは、新たに(仮)

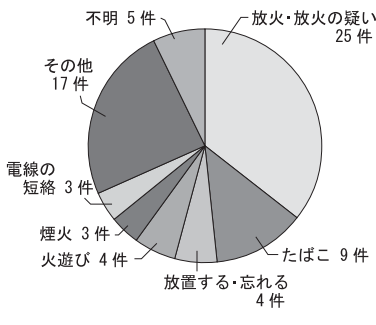
称「コピーリススクールさくら」のさと保育園(桜の里一丁目1-5・定員60人)と、(仮称)梅郷保育園(山崎1952-1・定員90人)が開

設します。保育時間はいずれも7時から20時までで、保育年齢は生後57日目からです。

【問合せ】保育課



平成23年原因別出火件数



①寝たばこはしない②ストーブは燃えやすいものから離して使用する③ガスコンロから離れるときは必ず火を消す④住宅用火災警報器を設置する⑤寝具・衣類は防災製品を使用する⑥住宅用消火器を設置する⑦隣近所の協力体制をつくる

警報器の設置は義務化

「住宅用火災警報器」は、煙や熱を感じし、警報音や音声などで火災を知らせる機器で、新築住宅は18年から、既存住宅は野田市では20年6月から設置が義務化されています。

消防本部では、自治会単位での住宅用火災警報器の共同購入の説明会を行っています。共同購入をすることで、価格が安くな